

先端研究基盤共用促進事業（コアファシリティ構築支援プログラム）

中間評価結果

機関名	長岡技術科学大学
事業概要	豊橋技術科学大学や全国の高等専門学校とともに、研究機器の遠隔・DX化による先導的な研究機器の共用ネットワーク「技学コアファシリティネットワーク構想」を実現し、ネットワーク全体での研究機器のコアファシリティ化を推進する。
評定（総合評価）	コメント
A	<ul style="list-style-type: none"> ・高専とのネットワークを通じて設備共用のDXモデルを構築し効率的な運用を実践している。研究設備・技術職員・運営資金の好循環を意識しており、スタッフのリモートスキルを伸ばす方策なども含め取組の横展開を期待したい。 ・全学展開にあたり、学長を巻き込んだ方針の文書化なども検討してはどうか。 ・地域企業における研究力向上やイノベーション創出に繋げるという目標達成に向けた事業管理には検討の余地がある。 ・産学連携の促進や民間資金導入のための施策充実、中長期視点での事業継続性の戦略策定などが望まれる。
評定（個別評価）	
① 進捗状況	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の目標を達成しており、活動は非常に活発で、計画を上回る進捗もある。 ・DX化、先駆的リモート手法の技術確立まで取り組んでおり高く評価できる。 ・地域企業の研究力向上、イノベーション創出、産学連携と国際連携の飛躍的増加という当初の目標に対する取組としては、更なる拡充を求めたい。
② 経営戦略	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な組織間連携によりDXの利点を最大化することに成功している。運用ルールの共通化による経費削減に加え、ネットワーク化により設備導入経費や人件費等の実質的な削減に繋げている。 ・遠隔を利用した機器の有効活用（学生の授業や技術職員のスキルアップへの活用）を積極的に進めており、これらについて利用料金を免除とするなどの方針も新規に打ち出している。 ・経営戦略の中に研究設備・機器群の整備・運用・共用に係る方針が適切に位置付けられているか不明確であった。
③ 実施体制・仕組み	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の総括の下に統括部局が設置されるなどの体制整備と並行して、デジタル改革など事務手続きの面での整備も進められている。 ・学長自ら指導力を発揮するような体制（またはそれに匹敵する体制）となっているかは不明確であった。 ・組織が入れ子になっており、学内における「センター」組織の位置づけがわかりにくい。

④ 人材育成	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> ・分析ソムリエの任命と各機関への訪問など、技術職員が主体的に行動する仕組みは大変良い。機器分析のリモート化の推進に合わせたリモート機器利用人材の育成、若手教員が共用機器を担当しインセンティブを付与するなどの取組も評価できる。 ・技術職員5名が文部科学大臣表彰を受賞する成果が出ている。 ・技術職員のマネジメント人材としてのキャリア形成、客観的評価を技術職員自ら確認できる仕組の構築などについては、今後の取組に期待したい。
⑤ 資金計画	コメント
b	<ul style="list-style-type: none"> ・DXによる効率的運用や人員の再配置、利用料金等に関する規定の見直しなど工夫されているが、自走化に向けた計画が明確になっていない。 ・利用料収入が伸びなければ、事業終了後の仕組みの維持は困難と懸念される。 ・民間資金導入に積極的に取り組まない限り、収入増には限界があると考える。
⑥ その他の政策との連携	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員を機器担当者に加えることなどで、全学的な共用マインドの形成に努めている。 ・ミリ波5G等のリモート手法開発、先駆的のものづくり機器のリモート化への展開計画等が進められている。リモートの強みを活かした民間企業との連携実績の今後の充実化が期待される。 ・今後、さらに分野融合等の研究開発活動を活性化し、外部資金導入に繋がるような新たなイノベーション創出を期待する。
⑦ 外部連携、国際化	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度採択大学と連携した取組（東工大 TC カレッジのサテライト拠点としてコース開設等）、両技科大と12高専のネットワーク構築による遠隔機器共用化は高く評価される。将来的に全国高専へ当該ネットワークを拡張する計画も大変良い。 ・国内にとどまらず、国境を越えた取組にも期待したい。海外機関との連携についての計画の具体化が望まれる。 ・ネットワーク構築が生み出すアウトカムについて深掘りを期待したい。
備考	なし